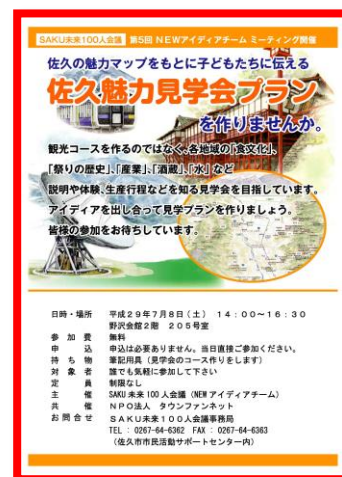


SAKU 未来 100 人会議

第 5 回 NEW アイディアチーム ミーティング【報告】

- 主催：NEW アイディアチーム (SAKU 未来 100 人会議)
- 共催：NPO 法人タウンネット
- 日時：平成 29 年 7 月 8 日 (土) 14:00～16:30
- 場所：佐久市市民活動サポートセンター (野沢会館 2 階 205 室)

議事録



1. 挨拶

- 総合司会の挨拶【NPO法人タウンファンネット】
- 佐久市市民活動サポートセンター挨拶

2. 今回のミーティングのガイドライン説明【前回の議事録参照】

- 前回の議事録を元に経過報告
- 参加者より質問

①今後何をテーマに、どうふくらましていくのか？

- ・皆さんで話し合い、皆さんの情報や協力者や事務局の交渉で生産者や工場に声を掛け見学プランを実施出来るようにしていく。また見学プランの時期やルート等の詳細を検討していく。コンセプトは 100 人会議の主たる 10 年後の未来に向けて、より住みやすい街にするには、「どうしたらいいのか?」「何ができるのか?」をコンセプトに「子どもたちに伝えたい・残したい佐久」の見学プラン作りの実施。

②運営方法は？

- ・基本は SAKU 未来 100 人会議主体のミーティングなので母体は SAKU 未来 100 人会議の NEW アイディアチームで事務局はサポートセンターとなる。運営方法は現段階では予算等は無いので、費用が発生する場合は、会費・参加により運営する。今後の内容によっては行政に検討して頂いて予算が出る可能性もある。
また、具体的な進め方は、見学プランの対象となる各地区の方々に協力頂き、その担当者が主体となって実施する。

3. 見学会に向けて【別紙参照】

①今までミーティングに参加された方々の意見

- 他の地域に佐久市の事を伝えていく話はどうなったのか？
- 子どもたちに伝える方法は？お金は必要ではないのか？
- 佐久市には既に資料があるので、それを活用すればいいのでは？

- せっかく時間をかけているのにメンバーが変わるのは残念。
- メンバーを増やすにはどうすればいいのか原点に戻るのも手段では。
- 見学プランは現地集合し散策して勉強をすれば参加人数はこだわらなくてもいいと思う。
- 見学プランは興味があれば参加者は来ると思う。
- 色々な情報をもとに見学プランを一つや二つ実行してみるのがいい。
- 見学プランを実施し、反省点を含め修正しながら進めていけばいい。
- 5回目のミーティングなので見学プランを実施すればいいと思う。
- やるならやるでアイデアを。やらないならやらないでアイデアを。
- 子どもたちを集めるのは難しい事。
- 佐久市内の子どもたちに伝えるのは困難。
- 実行するならもっと練ったほうがいい。
- 佐久市内でも自分の住んでいない地域に行くとアウェー感を感じてしまう。
- ここで企画したものを旅行会社に託す方法もあるのでは。
- 学校との連携を考えるのもいいのでは。
- 誰でも自由にをコンセプトに。
- 資料があるので楽しい。
- 観光ツアー等は他でもやっている。
- 何回もやっては疲弊する。
- 子どもたちに伝える課題は後継者問題だと思う。
- 1回着地点を作る。
- 見学プランを1回やってみよう。

②①の意見に対してのNEWアイデアチームの考え方

昨年までの100人会議では10年後の未来に向けての100人会議ではなく、今を考えた事業になってしまったり、講演会などの企画も多かった。本来の市民100人が参加し、佐久の未来を考える方向に修正する必要がある。

また、昨年のNEWアイデアチーム参加者からの質問や意見で多かった観光ツアーのワードはあくまでもひとつ事例であり、観光ツアーを実施するつもりはない。

参加者の意見で、佐久市は合併都市なので他の地域の事を知らない。そこを何かの手段でシェア出来るように進めていきたい。地元を好きになってもらう為には何をどうすればいいのか？そこで今回は子どもたちに自分のまちの文化・歴史・産業・農作物・加工等に興味を持ってもらえる為の見学プラン作りを話し合っている。

見学会では、佐久の色々な地域に興味のある方々が参加し、実際に自分で確かめ、食すことで佐久を再認識していただく。その情報をもとに子どもたちにどう伝えるか会議で考えていく。この繰り返しを行っていくことで多くの佐久の魅力を伝えていける。

③今回初めて参加した方々の意見

- 知らないことが多く、佐久市についてもっと知りたいと思った。
- 子どもたちを巻き込んだ事は良い事だと思う。

- 年齢層関係なく知りたいことがあった。
- 佐久市には大学がないので若者には地元愛を強く持ってもらいたい。
- 地元愛損失を防ぐことがポイントだと思う。
- 地域同士が交わってない感を凄く感じる。

④見学会プランに向けて

- お互いの地域の情報交換が出来るプランニング。
- 見学プランはストーリー性がポイント。
- 地域おこし協力隊は頑張っているので協力してもらいたい。
- 距離が縮まる企画を考える。
- 子どもたちには体験をさせる企画がいい。女性には食を絡ませる企画がいい。
- 子どもたちには何かを作らせたり体験させる事が一番興味を示す。
- 加工品を作る体験プランは良いかもしれない。
- 地元になんかあって、情報収集をして、スタッフが体験して、それを提供するシステム作り。
- 熱意を持っている人たちの所を見学し協力してもらおう。
- 子どもたちが取材をして発表するのもいい。
- 大人達がサポートしながら夏の自由研究や地元愛を競い合う大会やプレゼン大会などの実施。

4. まとめ

第5回目の開催も色々な地域から10年後の佐久を何か良いものにしたい、次世代の子どもたちに佐久の事を伝えたいという思いがある方々が参加し活発な意見交換ができました。様々な角度から様々な意見が飛び交い、皆さんの熱い気持ちが話し合いの中でたくさん出ました。

今回のミーティングでは、昨年の反省点から考え方や方向性を見直したことで企画内容を少し変更したことで分かりづらくなっていた方がいました。また、いろいろな意見や思いが交差して一本に整理することが難しい内容であることも分かりました。

そこで、1度デモ見学プランを立てNEWアイデアチームの参加者で実際に現場に足を運んでみる事が必要ではないでしょうか。次回は、これまでのマップ作りから得た情報の中からストーリー性のある場所を選定し、見学会を実施する方向で調整します。事前にサポートセンターとNPO法人タウンファンネット、協力してくれる実行委員の方々とプランを立てます。

次回の見学会には、沢山の皆さんが参加して、方向性や考え方を理解し、共有できるよう進めていきたいと思っております。皆様のご協力をお願いいたします。

